

新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望について（追加）

令和2年5月1日

自民党世田谷区議員

幹事長 下山芳男



世田谷区職員の皆様の新型コロナウイルス感染阻止に向けた懸命な職務遂行と努力に心より感謝を申し上げます。しかし、新型コロナウイルスの国内感染者は15,000人に迫っており、また世田谷区内の感染者も360人を超え、23区で最多となっています。区長自ら先頭に立ち、感染の終息のため、下記の事項について、全力で取り組むことを要望します。

追加要望

- 1 帰国者・接触者電話相談センターの相談窓口機能を大幅に増強すること。また、新型コロナウイルス感染症の早期診断・発見・隔離・治療に向けて検査体制を拡充させること。
- 2 自宅で療養を続けている感染者への医療体制を充実し、重症化への不安を解消すること。
- 3 地域での医療崩壊を何としても防ぐため、医療機関における消毒液、マスク、防護服などの資材を確保し、医療関係者を感染から確実に守ること。
- 4 都立公園、区立公園駐車場の利用制限に止まらず、子どもへの感染拡大を防ぐため、一定期間の遊具の使用禁止や封鎖について検討すること。
- 5 保護者が感染し、身寄りがない子どもへの対応として、一時保護所や医療機関との連携体制を構築すること。
- 6 区立小中学校の休校中における学習機会を確保するため、民間オンライン教育のコンテンツを活用した仕組みを早急に導入すること。
- 7 区のホームページを土曜、日曜、祝日も更新し、感染者数などを含め、区民に対し適時的確な情報提供をすること。
- 8 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う将来的な税収の減少を見据え、本庁舎を含めた今後の公共施設整備等を考慮し、早急に中長期の財政見通しを区民に示すこと。
- 9 未知のウイルスなどの感染拡大と自然災害が同時発生した際の対策として、使用中止となっている公共施設の活用を検討すること。また、避難所の衛生環境の確保、感染防止のための必要物資を備蓄すること。そして避難所において感染者が発生した場合のBCPの策定に取り組むこと。
- 10 感染の拡大を防ぐため、不要不急の外出の自粛が続いているが、高齢者にとっては、運動不足や精神的な大きな負担となっている。高齢者の健康を維持する適切な措置を行うこと。
- 11 特別定額給付金、子育て世帯への臨時特別給付金などの相談窓口の拡充と申請書類の簡便化を図り、早期に給付できる体制を構築すること。
- 12 区議会議員報酬については、民間の厳しい状況を踏まえ、早急に報酬審議会に諮問すること。

以上